令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

課名	長寿支援課	事業No.	341
会計	介護保険特別会計		
事業区分	政策	実施区分	継続
開始		終了	

事務事業名	認知症施策推進事業		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画	○		介護保険事業計画
	法令・例規等			介護保険法
事業目的	対象			認知症の人とその家族
	意図			地域における認知症ケア体制の整備

2 事業内容

	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
2年度取組	・認知症本人、その家族や親族、民生委員などからの相談と支援を随時実施しています。 ・認知症の介護者支援のため、認知症の人や家族が集える憩いの場としての「認知症カフェ」を実施しました。 ・介護保険認定者で若年性認知症の方の訪問を行い、実態把握と必要な相談・支援を実施しています。 ・認知症の早期診断・治療等につなげるため、認知症初期集中支援チームによる相談・支援を実施しました。チーム員会議は毎月１回開催しました。 ・高齢者安心おかえりカルテの作成支援を行っており、登録数は27です。	認知症サポート医報酬費	160
		認知症カフェ運営業務委託料	176
		需用費	263
		認知症サポーター養成講座教材費	28
		その他の経費	3,583

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成29年度 実績	平成30年度 計画	平成30年度 実績	令和元年度 計画	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和2年度 実績
	認知症カフェの参加者	人	240	279	240	305	400	651	400	153
	認知症相談件数	件	200	326	200	286	330	307	330	414
	若年性認知症相談件数	件		18	15	30	15	10	15	7
	認知症初期集中支援チーム新規相談件数	件		7	5	6	5	6	5	8
	認知症講演会参加者数	人		100	200	149	200	96	200	0
	認知症学習会開催回数	回		33	70	24	70	25	70	4
	認知症学習会参加者数	人		1,261	1,500	568	1,500	708	1,500	148

2年度決算(千円)				特定財源内訳及び補足事項
	予算額		5,817	
	決算額		4,210	（国）地域支援事業交付金（38.5%） （県）地域支援事業交付金（19.25%） （そ）一般会計繰入金（19.25%）
	財源の状況	国庫支出金	1,621	
		県支出金	810	
		地方債	0	
		その他	810	
		一般財源	969	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	5	5	3	1	1	3	4,185	3,523	会計年度任用職員人件費
2	5	5	3	1	30	1	1,347	659	認知症施策推進事業費
3	5	5	3	2	30	4	285	28	認知症サポーター養成事業費
4									
5									
6									
7									

振返り課題認識	・認知症初期集中支援チーム員会議での相談件数は少ないですが、専門医等医療機関と連携して丁寧な対応をしており、疾病の診断・治療につながっています。困難な事例に対応することもあります。また、認知症カフェは新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた期間があったため、参加者数は減少しています。 ・認知症に対する理解を深めるための認知症講演会は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催できませんでした。
上記の課題解決のための有効策	・認知症の早期診断や治療につなげるため、認知症初期集中支援チームの活動を広く知ってもらうことが必要です。地域や企業等で実施する認知症サポーター養成講座を通して、認知症の理解を深めます。ホームページ等を利用して周知します。認知症カフェについては、感染症対策を講じて実施します。
次年度に向けての取り組み	・地域や企業等で実施する認知症サポーター養成講座についてホームページ等利用して周知し、認知症の理解を深めます。 ・感染症対策を講じた認知症講演会の開催を検討します。